

# ひまわりからの メッセージ

170号

2026. 2. 9.

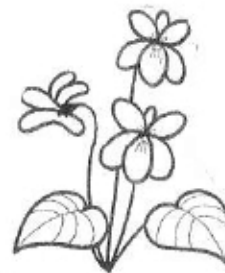
NPO ひまわりの花内

西濃園域

発達障がい支援センター

発行人: 中野み子

## バイオレットの 仄かな香りに寄せて



先日は大雪警報も出て、北海道や東北各地は大変だったようですが、わが家のあたりはそれ程でもなく、庭に残った雪も昨日には消えてしまいました。

今日は二月七日、久しぶりに庭に出てみました。いつもは勝手口から出勤してしまうので、玄関に出るのは朝刊を取りに行くだけという生活が続いていたのです。しかも、朝刊を取りに行くのは、朝まだ明けやうぬ時間ということもあって庭の木草を見るのは久しぶりです。もしかしたら、何株かあるはずの「ニオイスマイレ」が咲いていないかなあと、かすかな期待をこめて……。スマイレは多年草ですから、植垣の下にあるはずですが、でも植垣の下は、きれいに草取りされていて、ありません。しかし諦められなくて枯れ草をそっと手で

除けてみると、……ありました!! 紫色の小さな花が三つ咲いています。「こんな所で咲いてくれたんだね」、手に取ってみると、かすかにバイオレットの香りがします。

本当は「ニオイスマイレ」という学名は存在しないのです。スマイレの種類は多く、私には区別がつかないのですがニオイタチツボスミレという和名のスマイレとは花の形が少し違うし、ノジスマイレとは葉の形が違ってきます。でも我が家のスマイレは、かすかな芳香がありますから「ニオイスマイレ」と呼ぶことにしようと、私はいつの頃から決めているのです。

毎年のことですが、植垣の下に枯れ草の中から、この小さなスマイレを見つけると、いつもほっとします。春です。こんな小さな花も冬の寒さに負けずに小さな命をせいいはい輝かせているのです。私だって……。「あなたは何かできるの? せいいはい生きてる?」小さなスマイレは、そんなことを投げかけてくれているようですが、「ううん、私なりに出来ることをやっているだけだよ。それで良いでしょ?」頑張りすぎると心がボキッと折れてしまうといけないからね」と、私の心は言い訳をしています。今年度もあと一ヶ月半で終ります。子どもたちの引き継ぎ、会が終わると、県に提出する報告書が待っています。

誰の上にも時は平等に流れていきますが、その時間をどの様に使うのかは、人それぞれです。悔いを残さないように……。

# 北風と太陽



「北風と太陽」の話を知らない人は、おそらくいないだろうと思います。では、なぜ私はこの話を書こうと思ったのか、それは、時々この話を思い出させる出来事に遭遇するからです。

「北風と太陽」の話はイソップの寓話の中に出てきます。寒そうに外套を着こんだ旅人に対して、北風と太陽は旅人の外套をどちらが先に脱がせられるかの競争をする話でした。北風が風を送ると、旅人はますます外套をしつかりとつかんで寒い北風を避けようとし、でも暖かな太陽の光が降り注ぐと、自分から外套を脱いでしまいます。つまり、太陽の勝ちだったわけですね。

この話は寓話ですから、太陽は愛情で北風は厳格さにとらえられたり、早急に解決しようせず、ゆっくりと時間をかけて解決に導いた方が良いのだということになったり、その解釈には色々あります。

では、教育の場ではどうなのでしょう。

例えば旅人の外套というのは、その子の内面の困りや苦

悩や悲しみなどと考えてみると、一筋縄ではいきません。

いかわクリニクの井川先生は、以前、発達障がいの子の特性と反応と症状について話されたことがありました。特性は、いつでも、どこでも、誰の前でも同様に現れるもので、多動症の子は、学校でもスーパードキでも多動だし、A先生の前でもB先生の前でも誰の前でもよく動くでしょう。でも、もしもA先生がその特性を治そうとして厳しく叱責を続けると、A先生の前だけでは、姿勢よく坐っていられるようになるかもしれませんが、するとA先生は、「ほら、私の前ではやれるでしょう」と誇らし気におっしゃるかもしれませんが、でも、それは、実は特性↓反応という形になって、悪い方向に進んだことになるのです。いつでも、どこでも、誰の前でも……から、「ある人以外の人の前では……」ということですよ。そして、その方法をもっと押し進めていくと、今度は、「いつでも、どこでも、誰に対しても反抗的になっていきます。反応↓症状へと悪化して、「反抗挑戦性障害」を引き起こしたことになります。では、その責任は誰が負うのでしょうか。A先生に愛情がなかったわけではありません。きっとA先生は、「私は何も悪くない。あの子がもともと悪いんだ」とか「家庭が悪いから」とか、自分を防衛されるはずですよ。

一方、愛情をもって、何でも子どもの言いなりにしていけば子

どもは上手く育つのでしょいか。

私は「受容」という言葉を保護者の方たちに使わないようにしています。何故かと言うと、「受容」ということは、「何でも子どもの言うこと、欲求を通してあげることだ」と思われる保護者の方が多いからです。もしも子どもの要求を全て受け容れていたら、その子は王様、王子(王女)様に育ちます。保育園に入っても、自分中心になるでしょう。ルールのある遊びは負けそうになると自分ルールに変更しようとし、それが受け容れられないと、ひっくり返って泣き叫んでいるかもしれません。つまり、愛情だと思っている過度の受容もまた子どもを悪い方向に導いていく危険性があると言えます。

つまり、教育や保育には、両極端はないのです。もしもゼロか百しか考えられない人がいたら、おそらく子どもを育てる職業には向いていないと言えるのではないでしょう。北風と太陽に出てくる旅人の外套は、子どもではありませんものね。

私は心理学専攻だったので、この年齢になってもまだまだだなあと思うことはあります。子どもたちの内面に向き合うことの難しさを常々感じています。

引きつぎ会に参加していると「人見知りが多い」とか「不安

感が大きい」といったお子さんに出会うと、それはどうしてなのかと考えてしまいます。お母さんの不安感が少なからず影響しているのかと思うケースもあれば、小さい時から触覚など感覚の過敏さがあり、困っている場合もあるでしょう。お母さんが自分が寝ている間に居なくなってしまうことがあって、(本当は買物に行っただけなのに)又、居なくなったりどうしようと不安になる子もあるでしょうし、ご両親の間に何かトラブルがあってそれを敏感に感じ取ってしまっているということもあるかもしれません。又、先生や友達の発言を自分に向けられた中傷や叱責ととらえたり、実際に過去のいじめがトラウマになっているのかも知れません。

つまり、子どもたちが示す行動は、一見同じものに見えるかもしれませんが、家庭状況や友だち関係、本人自身の感受性や感覚の問題など多方面からの分析が必要となるはずです。CさんにはCさん、DさんにはDさんの理解がどうしても必要だと思ふのです。

でも私たちは「ADHDだから……」とか「ASDだから……」とか「単に甘えているだけだから……」「わがままだから……」と勝手に決めつけて、強引に大人に従わせようとしたら、「障がいだから仕方ないでよ、大目に見て……」とか「特性があるんだから認めてあげないと……」と、まるで理解しているかのように放任し

たりすることが無きにしても非ずです。

子ども達の成長発達を促していくためには、その子が少し努力すれば出来ることは何なのか、まず探ることだと思ひます。そして、子ども自身が理解できる見通しをたてて一緒に約束し、乗り越えて行けるように見守っていくことではないでしょうか。大人が指示に従わせようと厳格にしたら、従うことはできるかも知れませんが、子ども達の心は豊かにはならないでしょうし、何でも許してもらっている社会性は育ちません。

私達は大人の指示におとなしく従う子どもを育てているのではないと思ひます。善悪の判断も大切ですが、時には分かっている出来ないこともあるのが子どもです。辛いことや悲しいことが不安の原因かも知れませんが、そういう心の葛藤を自分で乗り越えていってほしいと願っているわけです。そのように考えると、その根底には、子どもを思いやる心が私達には必要だということになるでしょう。

例えば、「家に帰りたいよう」と泣いている子がいたとします。でも、その朝、お母さんや先生と「一日学校で過ごす」と約束していました。では、「教室へ行くよ!!」と無理矢理引っぱって教室に連れて行けば良いでしょうか。その時、その子にかける言葉は「教室へ行くよ!!」の一言で良いでしょうか。

それよりも、その子の気持ちに共感して「家に帰りたいよね」と言いましよう。でも、今日、どんな約束をしたんだっ た? 一日過ごす約束したんだよね、じゃあ、約束は守らないといけないよね」と、そこは譲らないことです。もちろん、それ以前のその子との関係性が出来ておらず、怖くて従うという関係性しか築けていなかったり、一貫性のない対応をしてきていたり、最初に共感の言葉は出て来ないかもしれません。

子どもの気持ちを理解した上で、聞けることと聞いてあげられないことがあることを示していくこと、感情的にならずにその時々どんな言葉をかけるのか、実は私達自身の生き方がそこで試されているのだと思ひます。言葉の大切さを知っている私達だからこそ、言葉のかけ方を工夫し、学んでいく必要があるのではないのでしょうか。相手を支配するのではなく思いやる心があれば、きっと通じ合えると信じて……。

### 3月の予定

- 2日~19日 引継ぎ会
- 4日 ヒアサポート  
検討会
- 6日 輪之内  
保健師研修  
榎井10ヶ月健診
- 9日 センター親の会  
榎井言語研修
- 16日 5歳医療
- 18日 検討会
- 25日 ひきこもりサポート

成人相談の予定

揖斐川、大野 養老  
安八

